

# 市民政策提案書

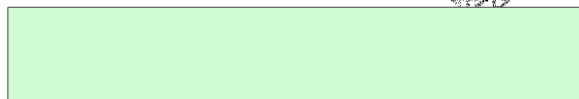
平成 27 年 8 月 24 日

苫小牧市長 岩 倉 博 文 様

氏 名 笹 森 晃



提案者（代表）



苫小牧市民参加条例第 17 条第 1 項の規定に基づき、次のとおり提案します。

## 1 政策提案の名称

非核平和都市条例第 2 条及び第 4 条に基づく「平和学」の創設、及び「平和教育」の実施。

## 2 提案の理由

戦後 70 年が経過し、平和意識が定着し、平和を愛する国民が育った一方、戦争体験者の多くが亡くなり、戦争体験の継承が難しくなっています。戦争の原因である「貧困、差別、教育機会の不在」などを解消する学問の創設と、子供たちへの平和教育を進める必要があります。

## 3 提案の内容

「平和課」を設置し、そこを中心にして、平和の実現に必要な環境の創設を追究する「平和学」の創設につとめる。また、「平和課」が率先して子供たちに平和教育を実施する。

平和教育の内容例

- (1) 苫小牧の空襲について紙芝居にして出前授業（出前紙芝居）をされている方がいますが、この紙芝居を各小学校で行うこと。
- (2) 「戦争及び平和の語り部」を創設して、学校で話を聞いてもらう時間を設ける。
- (3) 小学生の副読本「のびゆく苫小牧」に条例を掲載すること。

## 4 予想される効果

「平和の語り部」沼田鈴子さんの話を聞いて「いじめ」がなくなったとの話もある。平和について考える機会を作り、平和の大切さを知ってもらうきっかけになる。平和を尊び、命を大切にし、人を愛する人間に育てってもらうことで、平和で豊かな社会の創造

のために資するものと思われる。

5 その他参考資料等

生かされた「少女の夢」



回答期限

平成 27 年 11 月 24 日 (火)